



2013白聖芸術祭

「白聖芸術祭」大幅リニューアル 12月16日(月)～21日(土) 文房堂(神田神保町)で開催

第6回目を迎えた「白聖芸術祭」は、在京白聖会の年末の行事としてすっかり定着しました。そこで、より多くの方に参加いただけるよう、広くて便利な会場に変更しました。出展料は一人2点まで2千円。絵画、彫刻、書、陶芸などのほか、歌や演奏などでも参加できます。みんなで参加し、みんなでつくる文化の祭典。ぜひ、いっしょに楽しみましょう。



文房堂ギャラリー

〒101-0051
千代田区神田神保町1-21-1
文房堂ビル4F
Tel: 03-5282-7941
(会場直通:会期中のみ使用可能)
Tel: 03-3291-3445
(ギャラリー事務所)
<http://www.bumpodo.co.jp/>
*ギャラリーへはエレベーターを利用。
(アクセス)「神保町」駅(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、新宿線)
A7出口徒歩3分/JR「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口徒歩10分



広々とした文房堂ギャラリー。展示のほか歌や演奏、講習などのミニイベントができる

●出展者も見学者もゆったりと
白聖芸術祭を、毎年、楽しみにして下さる方が増えてきました。今回から若干の出展(出演)料を設定し、広くて、交通の便の良い会場に変更して開催することになりました。これまで狭い会場でたいへんご不便をおかけして参りましたが、「文化の祭典」にふさわしく、出展(出演)者と見学者が心行くまで交流を楽しんでいただけます。

在京白聖会報

第35号

平成25年9月28日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

(事務局)

〒162-0835 東京都新宿区

中町1番地11号 桜出版内

TEL 03-3269-0900

FAX 03-3269-8480

sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

(<http://www.hakua.sokei.co.jp/>)

題字：浅沼一道

〈2013年度在京白聖会クラブ活動スケジュール〉

- 10月22日(火)「在京白聖会ゴルフ大会」
(会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎/茨城県龍ヶ崎市)〈8面〉
- 11月9日(土)「中世城郭探訪」
(岩槻城見学)(場所：さいたま県岩槻区)〈2面〉
- 12月16日(月)～21日(土)「白聖芸術祭」
(会場：文房堂ギャラリー/千代田区神田神保町)〈1面〉
- 平成26年2月9日(日)「新年歌の祭り」
(会場：東京都渋谷区笹塚/Blue-T(ブルーティ))〈8面〉

※ご購入、お問い合わせは事務局 03-3269-0900へお気軽にどうぞ。

平成26(2014)年総会は5月10日(土)開催

●あなたの特技を
ぜひこの機会に
書画、彫刻、写真など
ジャンルを問わない
展示のほか、歌や演奏
のミニライブ、書道教室、手品、講演などが
できます。この機会に、
ぜひ、あなたの特技を
仲間にご披露下さい。
書画、写真等の個人展、グループ展もできます。お気軽にご相談ください。
●12月21日(土)野口田鶴子さんの「富澤賢治&五行歌朗読」
野口田鶴子さん(S40卒)の朗読は12月21日午後1時30分から。
●12月15日(日)搬入&懇親会
搬入はオープン前日の12月15日(日)です。会場の設営終了

白聖芸術祭実施概要

後、懇親会を行います。出展者でなくても参加できます。大勢の参加をお待ちしております



文房堂ギャラリーは4階、三省堂書店が目印

▼会場：文房堂ギャラリー(下記参照)
▼開催日：平成25年12月16日(月)～21日(土)11:00～18:30(最終日は15:00)
※搬入は12月15日(日)10:00から
▼出展料 一人2千円(2点まで)。
2点以上は1点に付き、プラス1千円。グループ展出展料もこれに準じます。イベントは1時間2千円(準備、撤収時間含)。イベントに要する楽器、道具等はすべて出演者負担で準備、ご用意下さい。なお、出演(出展)者は、期間中の会場係も分担で担当していただきます。
▼懇親会 搬入日の懇親会は17:00から。3000円会費(会場未定)。
▼申込締切 11月10日(日)。
▼申込み&問合せ先：三浦千波 〒211-0065川崎市中原区井田2-15の50 電話(044)797-2170
※なお、詳細は申込み締切り後、各出展(出演)者にご案内いたします。
(※作品の大きさ、イベントの種類、演目時間によっては出展または上演できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、出展作品は撮影し、会報に掲載される場合があります)

第13回 中世城郭探訪／来春 最終開催のご案内

参加者募集

岩槻城見学 ― 開催日：平成25年11月9日（土）―

鉄道が発達するまで、岩槻は、関東の交通の大動脈である荒川（現在の元荒川）を扼する拠点であった。そこに築かれた岩槻城は、元荒川の流れを引き入れて防衛の要としている。室町時代の関東騒乱の折、太田道灌が築城（成田氏が築城との説もある）し、公方、管領の両上杉氏らが三つ巴となって攻防を繰り返した舞台でもある。その後、関東全域の支配を目指す小田原北条氏の支配するところとなったが、北条氏滅亡後は、江戸の北を守る要衝として、譜代大名が明治まで配置されていた。

なお、城下見学の途次、盛岡



大椎城にて（H25.4.6開催）

出身の歌人大西民子（現盛岡二高出）の歌碑に立ち寄る。

〈開催要項〉

▼開催日：平成25年11月9日（土）少雨決行。当日荒天の場合は10日（日）に実施。催行の可否は前日に決定。

▼集合：9:30 東武野田線岩槻駅改札口集合（15時頃岩槻駅前にて解散→懇親会（希望者のみ））

▼申込み先＆締切り：11月7日（木）までに大澤邦雄（S43至へ電話03・6459・0041、又は次へメール rtdopt_ohsawa@yahoo.co.jp）

最終回開催予定

早春の花が咲き乱れる甲斐路を散策しながら、甲斐武田氏興亡の跡を辿る。また甲斐B級グルメに舌鼓を打った後、甲府市最大の祭りである信玄公祭りを見学する。宿泊は、甲府市街地を眼下に見下ろす、その名もホテル要害。百万ドルの夜景を見ながらの露天風呂は絶品。

〈開催要項〉

▼開催日：平成26年4月5日（土）6日（日）

▼申込み先＆締切り：平成26年2月28日（金）までに、前記、大澤邦雄へ電話又はメールで。

※行程等、詳細は申込み後、大澤までお問合せ下さい。なお、「中世城郭探訪」は、来年4月の開催をもって、在京白聖会のクラブ活動としては終了になります。

活動報告

第9回 在京白聖レディス会

銀座でランチ
楽しい白聖女子会

第9回 在京白聖レディス会は、6月22日（土）12時30分より、銀座のレストランSERRA（サンミ）高松本店で開催されました。お食事のあとは、ゲストの鍼灸師、堀之内裕子さんのご講演。身近なテーマで、みなさん熱心に聞き入っていました。

お食事に、おしゃべりに、あつと言う間の楽しい2時間でした。次回も多くの参加をお待ちしております。



2013総会報告

甲子園にもう一度！
甲子園出場を決めた！
決勝戦を再現！
 昭和53年の県大会

日時…平成25年5月11日

講演会15:00～ 総会・懇親会16:00～

会場…東京ガーデンパレス（お茶の水）

平成25年5月11日（土）に東京ガーデンパレスにて、第45回在京白聖会総会が開催されました。今年も昨年に続いて300名を超える多くの方にお越しいただき、立錫の余地もないほど

の大変な盛況となりました。当日は来賓として、盛岡一高校長の高橋廣至先生と白聖同窓会の谷村邦久副会長、また恩師として小山卓也先生にもご臨席いただきました。

310余名が参加した総会風景

今年は「集え！猛者達よ」をテーマに掲げ、憧れの盛岡一高に入學し、先輩たちとともに校歌・応援歌を歌ったあの頃を思い出し、思いだける企画を用意した。



正面の大型スクリーンに昭和53年岩手県大会決勝、対黒沢尻工戦の映像を映しながら応援を迫体験、甲子園出場の歓喜を味わった



S56年卒・西條芳文東北大学加齢医学研究所教授の講演会

しました。第一部は岩手あるいは盛岡一高にちなんだクイズ大会「百周年卒業生 百聖会からの挑戦状」。チームの皆さんがとても優秀で全問正解が4組も出たため、最後はじゃんけん大会による決勝戦となりました。続いて「甲子園にもう一度！昭和53年野球県大会決勝戦の再現」。幻に終わった一昨年の幹事の先輩方の企画を引き継いで、昭和53年の甲子園出場を決めた決勝戦の映像を背景に、皆



恒例の鏡開き（左よりS25卒・及川昭伍顧問、高橋廣至校長、S41卒・馬場信会長、S20卒・佐々木孝二さん、S41卒・谷村邦久白聖同窓会副会長）



サンキュー！サンキュー！「百聖会」（S56年卒同期会）。1年間ありがとうございました！

さんとともに「かつとばせ」「おかわり来い」や第6応援歌などの応援を再現いたしました。もう一度甲子園に応援に行きたいという多くの方の気持ちに反映し、大変な盛り上がりとなりました。

また総会に先立つ午後3時か



クイズ大会は全問正解者が多く最後はじゃんけん決着

お願い

平成25年度在京白聖会会費未納の方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円のお振込みをお願いいたします。なおすでにお支払い済みの方の振替用紙が届きましたら、ご容赦ください。



フレ！フレ！「82会」（S57年卒同期会）。来年の総会を、よろしくお願いします！

らは、東北大学大学院医学研究部所長であり東北大学加齢医学研究所教授の西條芳文氏（S56年卒）による「スマート・エイジング・日本の生きる道」と題する講演会を開催し好評を博しました。

来年は昭和57年卒の皆さんが幹事となりますが、すでに準備に余念がないようです。来年の会で皆様に再びお会いできることを楽しみにしております。ご参加いただきました皆様、どうもありがとうございました。

（昭和56年幹事一同）



Photo by Kosei Miya

ナショナルを 収斂すると インターナショナルに

白聖人
INTERVIEW

●
みやこうせいさん
(S31卒)

1965年から約半世紀、180回以上ルーマニアを訪問したみやこうせいさん(S31卒)。本紙第28号(2010年3月発行)既報の通り、2009年に日本の文化勲章にあたる芸術騎士十字章をルーマニア政府から授与された。今秋にはルーマニアで、長年にわたるフォークロアフィールド・ワークの集大成となる3冊の写真集を刊行する。著述、フォト・アート、批評、翻訳など多方面にわたるマルチな活動が続けるみやこうせいさんに、ルーマニアの魅力と、グローバルな社会に対峙する後輩へのメッセージを語っていただいた。(構成・写真〓山田武秋 S42卒)



ルーマニア政府から授与された芸術騎士十字勲章を胸に(2009年11月24日・ルーマニア大使館)

デジャヴュのルーマニア。

—みやさんが初めてルーマニアに行ったのが1965年。それから180回以上訪問されているそうですが、その魅力は?

みや 3カ月ほどルーマニア国内をあちこち放浪していたのですが、会う人々が口を揃えて「マラムレシュへ行きなさい。古いヨーロッパの伝統が残っていて、神のような人々がいる」と言っています。マラムレシュとはカルパチア山脈に抱かれたルーマニア北西部の地域です。人々は羊を飼い、ほぼ自給自足の生活をしています。ある日やつとかの地にたどり着きました。瞬間、「あつ、この風景は見たことがある」と思いました。要するに、デジャヴュ(既視感)ですね。北上山地の村の雰囲気そのものののです。言葉もなまりが強いんです。人々はとても親切で、みんな「どこから来たの、家へいらつしやい」と招いてくれる。1カ月その地域に滞在したが、毎日、民家に泊まりました。—それで、とり憑かれた!

みや エキサイティングなルーマニアのあと諸国を経てパリに行き、1年後に帰国しました。しかし、カルチャーショックで夢うつつの毎日でした。特に明るくやさしかったルーマニアの人々のことが忘れられない。以前、出版関係の新聞に籍を置いて柳田国男や宮本常一、レヴ

習俗に魅せられて

イ・ストロースなどを愛読していたせいか、古いヨーロッパの農牧民の生活を伝えるカルパチアの山岳地帯に住む人々の風俗や習慣をもっと究めたくなったのです。フォークロア(民俗学)ですね。雑誌などに書いた原稿料が貯まっていそいそと再訪したら、また大歓迎です。民俗学ではまったくの素人がルーマニアに通い、彼らの生活を細かく記録することになったのです。7回、8回と通う内に言葉もどうやら分かるようになり、微妙なことも理解できるようになりました。最初の本は『明日は貴族だ!』です。これは「戦後に出版、海外旅行書中の名著の10冊に入る」と、小田実氏らの著書とともに、評価されました。



『明日は貴族だ!』(1970 あすなろ社/2011 未知谷から改版)

『ルーマニアの小さな村から』(1990 NHKブックス/2007 未知谷から改版)

『羊と樅の木の歌』(1988 朝日選書/2008 未知谷から改版)

フレイムに、見えないものを込める

——ずっと前に出された朝日選書やNHKブックスは民俗学の調査のようなものですか。

みや いいえ。古い時代のヨーロッパが残って「原風景」といわれるカルパチア山系の人々の四季の行事、習慣などを誇張なく書いた本です。農牧民である

彼らの生活の中心にあるのは羊と樅の木です。その生活の中で樅の木は「神木」とされています。人が旅立てば、そのお墓の上に山からイキの良い樅の木を伐り出して来て無数の色紙で飾り、トートムポールのように立てるのですが、それは天から降りて来た神の思召しと、下から上っていく魂が交わる依り代なのです。天と地の結婚です。人々はルーマニア正教徒ですが、キリスト教以前の信仰も残っています。羊と樅の木が衣食住を賄い、人々の美意識を育み、素朴で心豊かな彼らの生活を支えているのです。結婚式のお触れに、若者が10頭くらいの飾り立てた馬に乗って走り回るチャグチャグ馬つこのような風習もあります。

——まるで盛岡のようですね。

みや ぼくはヨーロッパの原郷であるルーマニアは「世界の中心である」と言い出しました。でも、フォークロアの視点から言えば遠野も盛岡も世界の中心なのです。ナショナルでローカ

ルなものをつき詰めていけば、そこには必ず普通のインターナショナルな人間の営みがあります。どんな場所でも世界の中心であるというのが、ルーマニアで得た多くの持論です。

——すてきな写真をたくさん撮られていますね。

みや 岩波写真文庫を100冊作った職人気質の名写真家・蘭部澄さんと5年間、文章を担当し日本を細かくめぐりました。この方は小学校を出ただけ。たいへんな読書家でした。

写真については、まず構図を考え文章化をはかり、それから撮るといふ姿勢です。シャッターを切るのには、一つの被写体に2〜3回です。多くは撮りません。「見えるものはその場かざり、本質は見えないものの中にある」というサン・テグジュペリの言葉があります。自身、常にこの「見えないもの」に迫ろうと考えています。フレイムの中に込める見えない魂の軌跡は、雪石の僻村で暮らした小学



執筆は愛用の万年筆で、ときにワープロも



仏、伊、ルーマニアでも写真集を刊行

『ペレヅヴァーニエ』の心が世界を結びつける

——著書の他に翻訳も。外国語はどのように？

みや 福沢諭吉は「長じて洋学、蘭学を学ぶことになんどの畏れもなかった。国学を修めていたからだ」と言っています。外国語の基本は日本語ということですが、日本語の力が6割とすると、外国語もそれ以上にはなれないと思う。今、数カ国語を使い、友だちが諸国にいますが、核は日本語、あとは応用です。最近電子辞書ばかりですが、浦和

生のころ、部屋の小さな窓から、日夜、岩手山を眺め培われたも

のでしょう。幼いながら、厳冬の氷雪の下、月に照らされ燐光色に輝く山の威容に、神の存在を感じたのです。何の組織にも属さない多くの作品は、日本ではさほど理解されませんでした。20年ほど前、フランスの民俗学博物館（シャイヨール宮）に快心の写真集を送ったところ「すぐ写真展を」と言われ、3カ月の予定が「日本の感性で古いヨーロッパを撮った」と11カ月のロングランになりました。

高校の校長が入学式で新入生に紙の辞書を必ず使うよう言い渡しました。感じ入りました。紙の辞書のほうが引くのに早く、周辺の単語が目に入ります。それから、なんといっても良書を多く読むことです。世界には手つかずの宝石が眠っています。ともかく、対象に、ひしと、ひたすら、ひたむき、ひたぶる、はれ込みます。視点を広げ、隣接諸分野にくまなくあたり、言葉も学び、すそ野を広げることです。最初、不案内なルーマニアの駅で役立ったのは、高校時代に学んだ片言のフランス語です。ルーマニア語はラテン系で、教養のある人はフランス語を話します。フランス語教師がぼくを「家へ」と誘ったのが、ルーマニアと深く関わるきっかけとなりました。



ハンガリーやロシアのCD絵本の翻訳も。まだみちお氏や角野栄子さんとのコラボも

——初めて出会った人の家に行くのは勇気がいりませんか。

みや ロシア語に「ペレヅヴァーニエ」なる言葉があります。英語だと「フィーリング」。「相手の苦しみを苦しむ」という言葉です。26歳で勤めを辞め、読書三昧のときに、モスクワ大学の日本人留学生と知り合い1週間泊めたことがあります。彼はお返しにモスクワまでの片道切符を送ってきました。「不毛の生活より、海外へ」と言うのです。向こうで一カ月滞在して日本へ帰ると言ったら彼が怒って「どうしてヨーロッパまで行かないのか」とルーマニアの国境まで切符を買ってくれました。それから人生は変わってしまった。彼の懐の大きさが転機になったのです。世界中によき友がいますが、この「ペレヅヴァーニエ」こそが世界の人々を結びつける不変の精神ではないかと思っています。ぼくは素晴らしい人たちによく出会います。会った人をまず好きになるんです。自他同一という言葉が好きです。(了)





第11回 在京白聖会ゴルフ大会

参加者募集

10月22日(火)開催、すぐ申込みを!!

本年も、10月22日(火)、ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎で開催いたします。申込み締切りが10月5日(土)ですので、参加ご希望の年次チーム、個人は、男女を問わず、すぐにお申込み下さい。

〔開催要項〕

▼開催日：平成25年10月22日(火)
▼会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市
泉町原口1592の77
TEL (0297) 64-0110



昨年の参加者

▼集合時刻：8:30(時間厳守)

▼募集人員：10組40名

▼スタート予定時刻：9:30以降
(OUT、IN同時スタート)

※募集締め切り後、参加者に組み合わせ表を送付します。

▼対抗戦、個人戦、及び表彰

(1) プレー及びスコアは18ホールズストロークプレーとし、ハンディはダブルペリア方式(36で打ちめで算出します。なお、同ネットの場合は卒業年次を上位とします。

(2) 卒業年次別対抗戦

1チームの上位3名の合計スコア(1チーム3人の場合は3名の合計スコア)で順位を決定します。混成チームも、卒業年次対抗戦の対象とします。

(3) 個人戦

上記(1)で順位を決定します。

(4) 表彰

①卒業年次別対抗戦については、優勝チームの各人に優勝盾及び副賞を授与します。

②個人戦については、優勝者にカップ(持回り、翌年レプリカを授与)及び賞品を授与します。

③その他の賞として、飛び賞、ドラコン賞及びニアピン賞、ブービー賞を差し上げます。

▼費用

(1) プレー費(概算)：15,000円(各自清算、昼食代及び懇親会オードブル代を含む)

(2) 参加費：3,000円(パーテ

イール費、賞品代ほか) ※在京白聖会25年度年会費未納の方はプラス2,000円。

▼送迎バス：東京駅～会場間の往復送迎バスを用意します。

▼集合：7:00 東京八重洲口旧第二鉄鋼ビル前。時間厳守。

▼料金：往復3,000円(片道半額)

▼シルバートイー使用：認めます。

▼申込み及び申込み締め切り：①氏名②住所③電話番号(チームの場合は全員の分をまとめて)④送迎バス利用の有無を明記の上、10月5日(土)まで「在京白聖会ゴルフ大会」担当幹事事務局まで電子メールもしくは郵送・FAXでご連絡下さい。

▼今年の担当幹事：

事務局担当：細越博資(S40卒)

(Eメール)

hichosogoshi@com.home.ne.jp

(住所) 174-0063

板橋区前野町3の1の1の221

(TEL&FAX)

(03) 6789-6151

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表・山田)まで電話またはメールでお気軽にご連絡ください。Eメールアドレス sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

欲望の

疑似餌なくして

暮せぬか?

ローン明細

重い紙切れ

村谷尚(S54卒)

ただ黙々と

ひとつずつに

名を書き入れる

老人施設に

母入居の朝は

吉田美雅子(S45卒)

ここを過ぎて

悲しみの街

ふるさとへ帰る道は

歳をふること

足取り重くなり

山田武秋(S42卒)

朝焼け夕焼け

変幻自在の雲

大空を飛翔する鳥

ベランダに立ち

生きている

伊奈裕(S38卒)

※2013年4月～2013年8月までの作品から。名前はペンネームもあります。

第10回 歌の祭り(歌の新年会)

参加者募集

「歌の新年会」

H26年2月9日(日)開催



「歌の祭り」H25.8.4(日) 於：渋谷区笹塚 BLUE-T (ブルーティ)

「歌のまつり」は、毎回、歌を愛する幅広い年次の白聖同窓が集まって、白聖同窓が、毎回たくさん集まって、ピアノ伴奏による歌唱などを楽しんでいます。「歌の新年会」にも、多くの方の参加をお待ちしています。

〔開催要項〕

▼開催日：平成26年2月9日(日)

▼場所 BLUE-T(ブルーティ) 渋谷区笹塚1の61の8

▼申込・問合せ 時間や会費、申込み締切り等、詳細は大内秀之(S35卒) <cm0480@rio.odn.ne.jp> (メール) または電話(FAX) 045-864-3215でお問合せ下さい。

編集後記

▼在京玉高会(熊本県玉名高校の在京同窓会)から連絡があった。玉名高校も校舎が白聖の殿堂で、同窓会は「白聖会」を名のらしい。旧制中学には白聖の殿堂が多い。そのうち白聖サミットができて交流を楽しめるかもしれない。

▼今号のインタビューはみやこうせいさん(S31卒)。いまでも精力的に海外を往き来し活躍している。歩く速度も速い。大先輩に元気をもらった。▼昭和50年代卒会員が増え、年次幹事の皆さんを通じて、会員の充実に努めています。ご協力をよろしくお願い致します。▼皆さまの交流の場として、在京白聖会の活動を盛り上げましょう。(Y)